

社会科（地理的分野）学習構想案

期 日 令和6年11月12日（火）第5校時

場 所 人吉市立第二中学校体育館

学 級 1年1組 32名

指導者 人吉市立第二中学校 教諭 池崎 教人

1 単元の構想

単元名	第2章 4節「北アメリカ州」（帝国書院 P.94～107）		
単元の目標	<p>(1) 北アメリカ州について、移民との関わりを通じた地域的特色や課題を理解することができる。</p> <p>(2) アメリカの GDP が世界一である理由について、多面的・多角的に考察し、適切に表現することができる。</p> <p>(3) 北アメリカ州がどうあるべきか、主体的に追究しようとする態度を養う。</p>		
単元終了時の生徒の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）			
国境を越えて移動する人々とともに経済活動をすることの重要性について理解し、今後の北アメリカ州のあるべき姿について自分の考えをもっている生徒。			
指導計画と評価計画（8時間取扱い 本時 8／8）			
過程	時間	主に働かせたい見方・考え方と発問	身につけさせたい力 (知・技/思・判・表/態)
課題把握	1	<p>【場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカって何が「すごい」のだろう ・アメリカのすごいところを分類してみよう 	・アメリカのすごいところを調べる中で、地域的特色について、主体的に追求しようとしている。(態)
	単元を貫く課題：アメリカの GDP が世界一なのはなぜだろう？		
課題追究	1	<p>【場所】【自然環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北アメリカ州にはどんな地形や気候の特色が見られるだろう 	・北アメリカ州の地形や気候の特色について理解している（知・技）
	1	<p>【位置や分布】【空間的相互依存作用】【地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移民はどこからどれくらいアメリカにやってきているのだろう 	・アメリカへの移民の歴史や今の状況について理解している（知・技）
	1	<p>【地域】【空間的相互依存作用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界中から多くの人々がやってくることはアメリカ人の生活や文化にどんな影響を与えているだろう 	・アメリカの生活や文化の特色における移民の影響について考察している（思・判・表）
	1	<p>【自然環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜアメリカは「世界の食料庫」と呼ばれるほど農作物が盛んに作られ、輸出されるのだろう ・どんな人材がアメリカの農業を支えているだろう 	・アメリカの農業の特色について理解し、移民との関わりについて考察している（思・判・表）
	1	<p>【空間的相互依存作用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカの工業が世界をリードしているのはなぜだろう ・どんな人材がアメリカの工業を支えているだろう 	・アメリカの工業の特色について理解し、移民との関わりについて考察している（思・判・表）
課題解決	1	<p>【地域】【空間的相互依存作用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカの GDP は世界一なのはなぜだろう？ ・移民として出ていく国にとって、今のままで良いだろうか 	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカの GDP が世界一である理由について、多面的・多角的に考察し、適切に表現することができる。（思・判・表） ・北アメリカ州のあるべき姿について、多面的・多角的に考えている。(態)
	1 (本時)	<p>【地域】【空間的相互依存作用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移民をめぐって、北アメリカ州は今後どんな地域になると良いだろうか 	

2 本実践のねらいと生徒の実態

本実践（単元）のねらい							
<p>本単元は、学習指導要領の地理的分野における「B世界の様々な地域」の「(2)世界の諸地域」にあたる。北アメリカ州は様々な分野で世界をリードしているアメリカ合衆国があり、周辺のカナダやメキシコ、西インド諸島の島々もその影響を強く受けており、さらにその影響力は地球全体に及んでいる。</p> <p>アメリカが経済成長を続け、GDPが世界一である要因は地形や気候、資源、産業などが考えられるが、「移民」も大きな要因である。アメリカには年間100万人以上の移民がやってきており、他に類を見ない移民受け入れ大国である。アメリカにおける産業や文化など多くの分野の発展には「移民」による社会的影響が大きい。一方で「移民」は2024年アメリカ大統領選挙の争点となっていたり、ヨーロッパでも移民や難民に規制をかけようとしたりする動きもあり、過度な人の移動については地球的課題と言える。移民のパワーで世界をリードし発展してきたアメリカを中心に学習してきた中で、北アメリカ州全体に目を向けた際に、移民として国民が出ていく国の立場に考えを巡らせた上で、北アメリカ州の人の移動がどうあるべきかを考えることは面白い課題であると考えます。</p> <p>近年の日本でも「外国人労働者の増加」が実生活でも感じられるほど顕著になっており、労働力不足を補う目的で今後も更なる流入が想定される。熊本県や人吉市も例外ではない。北アメリカ州全体の人の移動のあるべき姿を考察することで、これからの日本の在り方にも目を向けさせたいと考え、本実践を行う。</p>							
本単元における系統							
<p>「アジア州」 アジア州の国々が急速に成長しているのはなぜだろう</p> <p>「ヨーロッパ州」 ヨーロッパではアジアの国々やアメリカに対してどんな工夫をしているだろう</p>	<p>「北アメリカ州」 アメリカのGDPが世界一なのはなぜだろう？</p> <p>中2 日本の地域的特色「人口」 少子高齢化による様々な課題に対して、日本はどんな取組を進めていくべきか。</p> <p>中3 現代社会の特色と私たち 「グローバル化」「少子高齢化」 「より良い地球社会を目指して」</p>						
生徒の実態（単元の目標につながる学びの実態）							
<p>■本単元を学習する以前の内容理解（単位：20人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">調査内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世界地図を見てアメリカ合衆国の位置が分かる。</td> <td>・分かる（12人） ・分からない（8人）</td> </tr> <tr> <td>移民とは何か、説明できますか？</td> <td>・聞いたことがあり、説明できる（3人） 「他の場所からやってきた人のこと」「他国に移って住むこと」 ・聞いたことはあるが、説明できない（12人） ・聞いたことがない、全く分からない（6人）</td> </tr> </tbody> </table>		調査内容		世界地図を見てアメリカ合衆国の位置が分かる。	・分かる（12人） ・分からない（8人）	移民とは何か、説明できますか？	・聞いたことがあり、説明できる（3人） 「他の場所からやってきた人のこと」「他国に移って住むこと」 ・聞いたことはあるが、説明できない（12人） ・聞いたことがない、全く分からない（6人）
調査内容							
世界地図を見てアメリカ合衆国の位置が分かる。	・分かる（12人） ・分からない（8人）						
移民とは何か、説明できますか？	・聞いたことがあり、説明できる（3人） 「他の場所からやってきた人のこと」「他国に移って住むこと」 ・聞いたことはあるが、説明できない（12人） ・聞いたことがない、全く分からない（6人）						
<p>■本単元の学習に関する意識の状況（単位：20人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">調査内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アメリカ合衆国で農業や工業、ITなどで世界的に大きな影響を与えているものは？</td> <td>・アメリカ合衆国の面積が広いから（9人） ・気温が高いところもあれば低いところもあるなど様々な気候があるから（5人） ・資源（石油や金属のもとになるもの）が豊富にあるから（3人） ・アメリカ合衆国を目指して多くの人に移り住むから（4人）</td> </tr> <tr> <td>現在、アメリカ合衆国には、どこからの移民が多いか？</td> <td>・ヨーロッパ（5人） ・アフリカ（3人） ・アジア（9人） ・オセアニア（0人） ・南北アメリカ（4人）</td> </tr> </tbody> </table>		調査内容		アメリカ合衆国で農業や工業、ITなどで世界的に大きな影響を与えているものは？	・アメリカ合衆国の面積が広いから（9人） ・気温が高いところもあれば低いところもあるなど様々な気候があるから（5人） ・資源（石油や金属のもとになるもの）が豊富にあるから（3人） ・アメリカ合衆国を目指して多くの人に移り住むから（4人）	現在、アメリカ合衆国には、どこからの移民が多いか？	・ヨーロッパ（5人） ・アフリカ（3人） ・アジア（9人） ・オセアニア（0人） ・南北アメリカ（4人）
調査内容							
アメリカ合衆国で農業や工業、ITなどで世界的に大きな影響を与えているものは？	・アメリカ合衆国の面積が広いから（9人） ・気温が高いところもあれば低いところもあるなど様々な気候があるから（5人） ・資源（石油や金属のもとになるもの）が豊富にあるから（3人） ・アメリカ合衆国を目指して多くの人に移り住むから（4人）						
現在、アメリカ合衆国には、どこからの移民が多いか？	・ヨーロッパ（5人） ・アフリカ（3人） ・アジア（9人） ・オセアニア（0人） ・南北アメリカ（4人）						
<p>■考察</p> <p>北アメリカ州に関する理解についてはほぼ半数の生徒がアメリカの場所を正確には示せていなかった。移民については言葉を聞いたことはある生徒がほとんどであるものの、説明ができるという生徒は1割しかいない。確実でないことに対して自信をもてない生徒が多いという実態が表れている。</p> <p>アメリカに関する意識調査では、アメリカの産業に影響を与えているものは「面積」だと回答する生徒が多く、これまでの学習を活かして答えようとしていた。アメリカ合衆国への移民についても、学習したアジアやヨーロッパの回答が多かった。南北アメリカと答えた生徒は、理由を近いからとし、地理的な視点で答えている生徒だった。</p> <p>本単元ではアメリカがGDP世界一である理由を、これまで学習してきた視点に加えて移民の影響と関連付けて考察させたい。日本でも外国人労働者が今後増加してくる状況を踏まえ、単元の終末では北アメリカ州全体がこれからどうあるべきなのかを考えをもたせ、日本のことを考え始めるきっかけにしたい。</p>							

3 指導に当たっての留意点

- 既習知識や関心の高い話題を提示し、学習に主体的に向かう意欲を高める。
- 教科書や資料集などにある様々な資料を根拠として、課題の解決に向かう力を付ける。
- ICTを活用して資料を提示したり、考えを整理したり、発表したり、次時での学びを調整する力を養う。
- グループ活動や対話の時間を多く取り入れ、協働的に学び、理解を深めることができるようにする。

4 本時の学習

(1) 目標 移民を通して、アメリカとメキシコの関係性について考察する活動を通して、北アメリカ州のあるべき姿について、多面的・多角的に考え、主体的に追求しようとしている。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言 ※生み出したい問い)	指導上の留意事項
導入	5分	<p>1 前時までの学習を確認し、本時の課題を把握する。</p> <p>◇アメリカのGDP世界を支えているのは移民の存在だった</p> <p>※メキシコにとって人がアメリカに出ていくことってよくないんじゃないかな？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○移民がアメリカにとって重要な存在であることを確認する。 ○北アメリカ州全体に目を向けさせる。 ○本時流れを確認する。
展開	15分	<p>【学習課題】</p> <p>移民をめぐって、今後北アメリカ州はどんな地域になると良いだろうか</p> <p>2 これからの北アメリカ州がどうなっていくと良いかを考え、協議する。</p> <p>※なんでメキシコからたくさんの移民が来ているのかな？</p> <p>※アメリカとメキシコの経済格差を埋めるにはどうしたら良いだろうか？</p> <p>◇メキシコや中南米の国々にお金を援助すると良い。</p> <p>◇北アメリカ州全体が結びつきを強めて、お互いに成長するように協力し合うと良い。</p> <p>◇メキシコに外国企業が工場を建てたらいいと思う。</p> <p>※アメリカには移民は来なくなってもいいのかな？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ロイロノートのシートに自分の考えを記入させる。 ○北アメリカ州の国々のGDP、移民の流れ、移民がない場合のアメリカの成長率、SDGsの目標10の資料を配布する。 ○アメリカの特色やアジア、ヨーロッパでの学習など、これまでの学習や資料を使って、根拠を示させる。
	20分	<p>3 いくつかの考えを聞いた上でさらにグループ協議し、グループの考えを全体で共有する。</p> <p>◇メキシコやグアテマラなどの国の人たちが、自国での生活ができるように、賃金が上がれば良い。</p> <p>◇アメリカにとっては移民の力が大切だから、来てもらえるように待遇をよくしていくべきだと思う。</p> <p>※待遇をよくしたら、もっとアメリカに移民がやってくることはいいのかな？</p> <p>◇アメリカはもう十分に経済力があるから、自国内の力で成長するべき</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○共有ノートにグループの考えを記入させ、考えが見えるようにする。 ○立場ごとに考えを板書する。 ○各班の考えに対して、切り返しや問い返しを行う。 <p><考えが書けない生徒への手立て></p> <ul style="list-style-type: none"> ○グループ活動や自由に対話をする時間を作り、考えを聞いたり質問したりしやすくする。
終末	7分 3分	<p>4 グループの発表から、本時の課題に対する自分の考えをまとめる。</p> <p>◇北アメリカ州は人の移動が緩やかになるように、格差をなくしていくための対策が必要だと思う。</p> <p>◇アメリカにとって移民の力は大切だから賃金などを優遇するべきだと思うが、メキシコのことを考えると、受け入れすぎも良くないと思う。</p> <p>5 まとめを聞いて、互いのシートを見て共有し、最後に学習の振り返りを記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ロイロノートのシートに、課題に対する考えをまとめさせ、数名発表させる。 ○本時の振り返りをロイロノートに記入させる。

(3) 本時の評価

評価の観点	評価基準
態度	A: アメリカ合衆国における移民の重要性を理解した上で、北アメリカ州のあるべき姿について、多面的・多角的に考えている。
	B: アメリカ合衆国における移民の重要性を理解した上で、自分なりに考えている。

